

(第2号様式)

那特第 868 号
令和8年 3月 2日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立那覇特別支援学校
校長 下里 佳代子
(公印省略)

令和7年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和7年12月5日付け教県第1750号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和7年7月11日	場所	本校視聴覚室	出席状況	4名出席
第2回	日時	令和7年12月12日	場所	本校視聴覚室	出席状況	3名出席、1名欠席
第3回	日時	令和8年2月26日	場所	本校視聴覚室	出席状況	3名出席、1名欠席 ※欠席者の代理参加あり

2 学校評議員に求めた事項

- (1)本年度の学校経営について
- (2)本校の支援部、進路指導及びPTA活動紹介、校内研修、安全部等の取組紹介
- (3)各学期における学部、学校行事等の取組の様子の紹介
- (4)ストレスチェック集団分析について
- (5)令和7年度本校の学校評価集計・考察結果に関する意見・ご助言

3 学校評議員の意見

- ・生徒数、職員数も少なくなっていく中で、しっかり職員が役割、責任を持って、指導しているということが分かりました。しかし、大人との関わりだけでなく、こども同士で関わっている活動の様子や変化も見てみたい(写真・動画等)
- ・今回、小中高の動画や写真の説明を聞いて、見て、具体的に動画を拝見しましたが、本当に生徒が大切にされていることを知ることができました。感動しました。是非、看護大の学生にも児童生徒に関わる姿を見て、知って欲しいと思いました。学生に伝えていきたい。
- ・これからも学校と協力しながらこども達の成長、発達を促せるような働きかけをやっていけたらと思っています。
- ・写真や動画をみて、とても素敵だと思いました。

4 学校運営に反映した事項

- ・こども達同士の関わりも大切であることを全体職朝で周知し、子ども同士が関わっている活動の様子や変化を学校評議員の皆様に見ていただいた。
- ・地域との連携・交流方法の工夫を行った。(沖縄看護大学の敷地内への作品展示、看護学生の本校児童生徒の授業見学、本校生徒の看護大施設見学、モスバーガー壺屋店、琉銀寄宮支店等に本校児童生徒の作品等の展示)
- ・隣接する沖縄南部療育医療センターと連携・協力した合同地震避難訓練の実施。
- ・小規模校における学校行事、PTA活動等への保護者の参加方法の工夫。

5 課題その他

- ・児童生徒減に伴う、小規模校における学校、学部の運営方法の創意工夫。
- ・重度重複の児童生徒に対しての教科学習の取り組みの充実。
- ・隣接する南部療育医療センター及び地域の自治会との交流も含めて、さらなる地域との連携・交流方法の検討。